

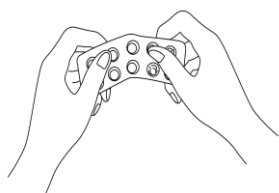


- 水質検査以外には使用しないで下さい
- 試薬は口に含んだり、目に入れたりしないようご注意ください
- 試薬が手についたとき、また測定終了後にはよく手を洗って下さい
- 使用後はケースに入れ、直射日光を避けて冷暗所に保管して下さい
- DPD 試薬にはリン酸緩衝剤が含まれております

セット内容	残留塩素計本体	1台
	本体ビニールケース	1枚
	丸型試験管（フタ付）	3本
	DPD 試薬（錠剤）50回分	1箱
	取扱説明書	1枚
別売品	DPD 試薬（錠剤）50回分（商品 CD : 32-1356）	
	DPD 試薬（錠剤）100回分（商品 CD : 32-1357）	

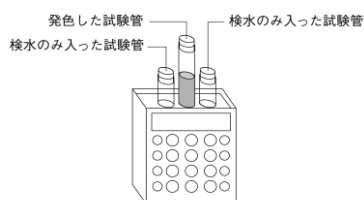
## 残留塩素の測定手順

### 1 検水へ試薬を添加する



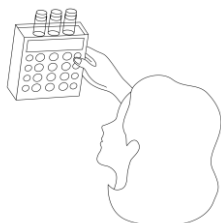
- ①検水を付属試験管の目盛りの高さ（10ml）まで採水します
- ②残留塩素測定用 DPD 試薬 1 錠を検水に添加し、フタをして 5~10 秒軽く振ります  
※試薬にはリン酸緩衝剤などの DPD 試薬以外の成分も含まれているため、すべて溶け切る必要はありません

### 2 試験管を本体にセット



試薬が均一に拡散してから、発色した試験管と検水のみを入れた試験管を測定器本体にセットします

### 3 測定



自然光等の明るい方向に向けて測定器本体をかざし、もっとも近い色調の数値から測定値を判別します

- ※DPD 試薬は塩素濃度が高すぎる場合には発色しません
- ※検水へ試薬を添加後 5~10 秒程度で濃度を読み取って下さい  
長時間放置すると遊離残留塩素以外の物質に反応してしまう可能性があります
- ※天然温泉、地下水の汲み上げ等、溶存成分が特殊な水質においては発色が妨害される恐れがあります

販売元  
株式会社三商  
URL <http://www.co-sansyo.co.jp>

製造元  
各種水質測定器  
**SZK** 鈴木株式会社  
URL <http://www.suzuken-ltd.co.jp>